

平成24年3月24日

第2次四街道市男女共同参画推進計画の平成22年度事業評価に対する意見

四街道市男女共同参画推進協議会

第2次四街道市男女共同参画推進計画の平成22年度事業評価に対して、男女共同参画推進協議会より以下のとおり、意見を提出します。

1. 総評

第2次男女共同参画推進計画の22年度事業については、次の点で進捗が見られ、評価できる。

①実施—評価—フィードバックというサイクルが軌道に乗った。

②評価形式と評価基準が改善された。

③順調な推進が図れていると評価された課題が、21年度には5課題中1課題であったが、22年度には2課題（課題4、課題5）が、5段階評価で★★★の評価となった。これら課題には、男女共同参画推進事業としての実施が充実した、あるいは明確になった事業が多く含まれていたことによる。

一方、★★と評価された課題には、未実施であった事業、男女共同参画推進事業としての実施に係るデータが十分でない事業、男女共同参画推進との関連が明確でない事業が見受けられた。

計画全体の成果を表わす「成果指標の目標達成効果率」、「各委員会、団体等の委員男女比率」のうち、22年度現状値が得られた17指標の目標達成度（目標達成効果率。男女別に設定されたものはそれぞれ算出）は、「0.8以上：目標達成に向けて十分な成果が認められる」5指標（29.4%）、「0.6~0.8 未満：目標達成に向かう成果が認められるが十分でない面がある」2指標（11.8%）、「0.3~0.6 未満：目標達成に向かう成果はあまり認められない」1指標（5.9%）、「0.3 未満：目標達成に向かう成果はほとんど認められない」9指標（52.9%）という分布となっている。指標に示される限り、計画はいまだ十分な成果を上げるに至っていない。

今後一層、男女共同参画推進上の目標達成に向けて事業が実施されたか、成果が追及されたかという観点での検証が徹底されること、そして何より、成果を期待する。

2. 事業評価その他に関する意見等

事業評価の更なる改善とそれを通じた計画の実効ある実施に向けて、以下の事項を検討されたい。

(1) 成果の管理について

①目標達成効果率の考え方

成果指標の目標達成効果率の値については、特定事業の直接的な結果といった単純なものではなく、様々な取組や外的要因の複合的な結果である。実施過程で、計画の成果の“ものさし”として設定した指標の目標達成効果率の値の推移に注目していくのは当然であるが、ただ注目していくだけでなく、目標達成効果率の値の変化に関連し得る諸活動に積極的に働きかけることも必要である。

②指標の設定

現行成果指標の中には、市民の生活や意識、民間事業所の活動の実態等、調査を実施しなければデータが得られない指標がいくつも含まれている。市民を対象とする調査が、計画改定前にのみ行われている現状下では、これら指標は、計画期間中ほとんどいかにされないこととなる。

次期計画に向けて、例えば国勢調査等、活用し得る既存調査の結果の活用等を含め、市民の生活や意識、民間事業所の活動の実態に係る成果指標では、データ取得が可能な指標の設定を検討されたい。

また、すべての課題に成果指標を設定することを重視した第2次計画の成果管理においては致し方なかったことと理解するが、現行指標の中には、成果 **outcome** だけではなく実施結果 **output** の指標が混在している。次期計画については、より多く成果の指標が設定されることを期待する。

③目標達成効果率の表現

目標達成効果率は算定された数値と、その値による段階評価で示されるようになっている。両方が一目瞭然となるように、表記を検討されたい。

(2) 実施と実施結果の管理について

進行管理シートによって、各事業が当該年度にどのように実施され、その結果がどのようなであったかを評価するために必要な情報を収集するに当たり、実施の有無、開催回数、性別参加者数等比較的収集しやすい情報から収集が始まることは致し方ない。

しかし、事業評価が軌道に乗るに従い、より男女共同参画推進上の質に踏み込んだ情報収集がなされるようになることを期待する。

(3) 評価について

①課題の明記

評価は、基準に照らし、根拠に基づいてなされ、それが第三者にとって納得できるものであることが大切である。特に高い評価がなされる場合には、さらに、より良くなるための課題が明記されると納得しやすい。

②関連事業の評価

関連事業は、当該事業の主目的における取組やその点の評価ではなく、あくまで男女共同参画推進との関連、男女共同参画推進上どうであったかを評価するものであることから、当該事業の主目的達成度が高い場合においては、その点から不本意と思われる評価結果となっている事業が見受けられる。次期計画に向けては、広範な関連事業を含む計画とすることの是非をも検討されたい。

(4) 評価結果の表示のしかたについて

評価結果をより分かりやすく表示するために、計画体系上に★を記載する方法をも検討されたい。